

手数料改定のお知らせ

建築確認申請等の手数料の改定について

建築基準法・建築物省エネ法の改正により、建築確認・検査対象の見直し及び全ての建築物への省エネ基準適合の義務化が実施されることに伴い、**令和7年4月1日以降**に受付する建築確認申請等の手数料を改定します。

改正後の手数料

○ 基本手数料

種別及び床面積の区分		A-1	B-1	C-1	C-2	C-3	C-4
		確認申請	中間検査	完了検査			
				省エネ検査 無		省エネ検査 有	
				中間検査 無	中間検査 有	中間検査 無	中間検査 有
建築物	30㎡以内	8,000	15,000	20,000	16,000	24,000	20,000
	30㎡を超え100㎡以内	18,000	20,000	26,000	23,000	30,000	27,000
	100㎡を超え200㎡以内	31,000	32,000	38,000	35,000	42,000	39,000
	200㎡を超え500㎡以内	42,000	38,000	43,000	40,000	49,000	46,000
	500㎡を超え1,000㎡以内	66,000	52,000	59,000	55,000	69,000	65,000
	1,000㎡を超え2,000㎡以内	97,000	70,000	80,000	76,000	94,000	90,000
	2,000㎡を超え10,000㎡以内	231,000	159,000	193,000	182,000	227,000	216,000
	10,000㎡を超え50,000㎡以内	335,000	239,000	282,000	268,000	331,000	317,000
	50,000㎡を超えるもの	561,000	430,000	493,000	474,000	579,000	560,000
建築設備		13,000		17,000			
建築設備(小荷物専用昇降機)		6,000		11,000			
工作物		13,000		12,000			

○ 省エネ性能(仕様基準による場合)の審査を要する場合の加算手数料

用途及び床面積の区分		A-2
		確認申請A-1に加算
一戸建て住宅	200㎡未満	11,000
	200㎡以上	12,000
共同住宅	300㎡未満	21,000
	300㎡以上2,000㎡未満	33,000
	2000㎡以上5,000㎡未満	53,000
	5,000㎡以上	69,000

POINT

※ 建築確認申請の審査の中で、**仕様基準による省エネ性能の審査**が必要な場合に**確認申請の手数料に加算**する必要があります。

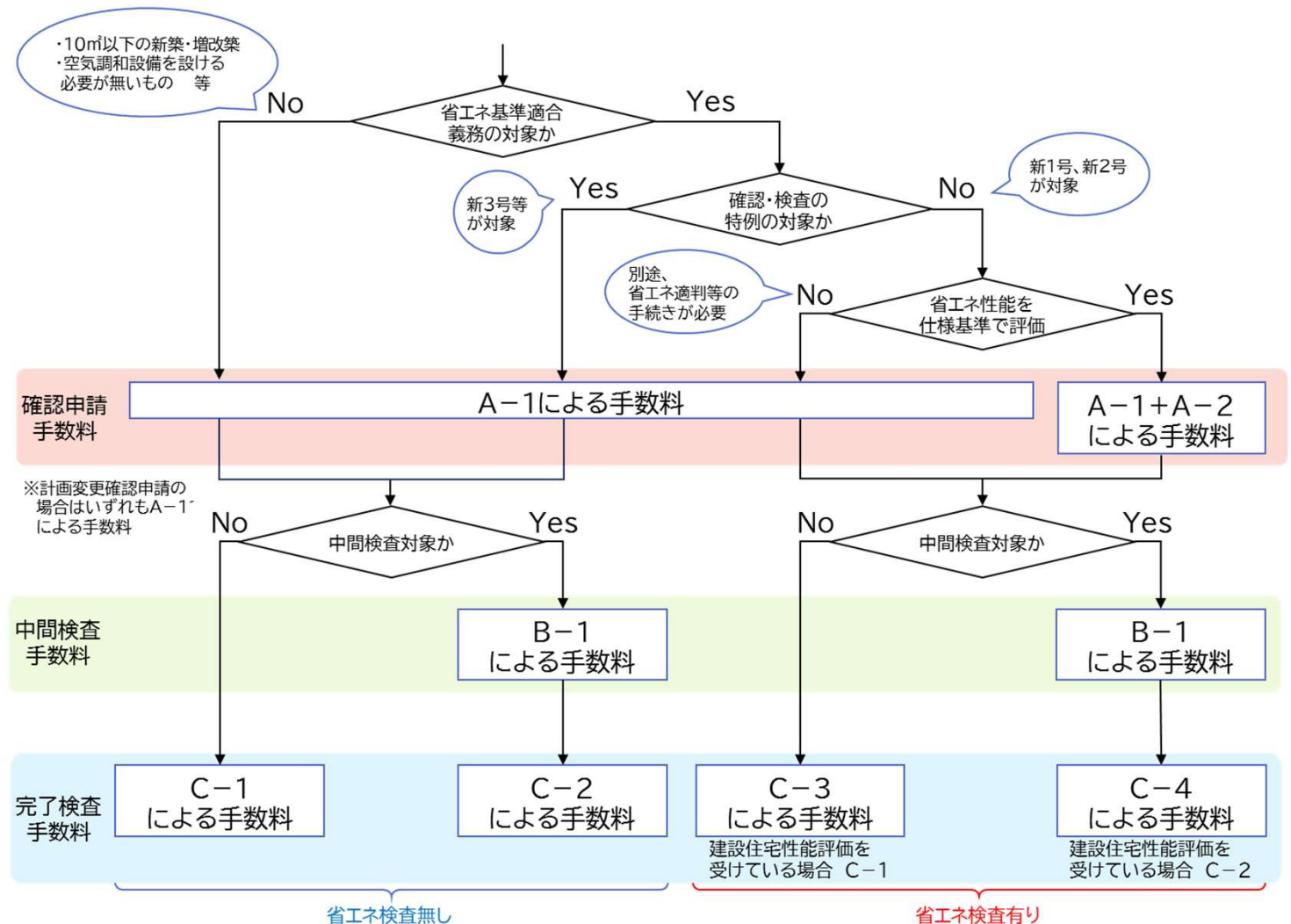
○ 省エネ適判に係る手数料

用途及び床面積の区分		D		
		省エネ適判		
		仕様基準	仕様・計算併用法	標準計算法
一戸建て住宅	200㎡未満	15,000	22,000	30,000
	200㎡以上	16,000	24,000	33,000
共同住宅	300㎡未満	29,000	45,000	61,000
	300㎡以上2,000㎡未満	50,000	76,000	102,000
	2000㎡以上5,000㎡未満	91,000	132,000	174,000
	5,000㎡以上	138,000	193,000	249,000

手数料改定のお知らせ

手数料の考え方

○ 標準的な手数料算定フロー



○ 手数料の算定例

【例】 一戸建て住宅 2階建て 110㎡の場合

①省エネ性能を標準計算法で評価し、省エネ適判を受ける場合

確認申請	省エネ適判	完了検査	
A-1	D	C-3	
31,000円	30,000円	42,000円	合計 103,000円

②省エネ性能を仕様基準で評価し、省エネ適判を受けない場合

確認申請	省エネ審査	完了検査	
A-1	A-2	C-3	
31,000円	11,000円	42,000円	合計 84,000円

POINT

※ 省エネ適判を受けた建築物で、確認済証の交付後に計画を変更する場合、計画変更確認申請手数料の他に、省エネ適判に係る計画変更や軽微変更該当証明の申請手数料が必要となる場合があります。